

■視点1-②

《中期目標》未来を切り拓く挑戦精神を持ち、他者との「共創」の学びを通して自らの考えを表現できる生徒の育成  
 <成果指標> 平成34年度全国学力・学習状況調査 目標値 国語A:100以上 国語B:100以上 数学A:100以上 数学B:100以上

《短期目標》意欲をもって学び、課題解決のための「コミュニケーション能力」を備えた生徒の育成  
 全国学力・学習状況調査の県平均到達と維持を目指す  
 <短期指標> 平成32年度の全国調査の標準化得点 目標値 国語A:97.3 国語B:95.2 数学A:100.0 数学B:97.7

■視点5

**【家庭・関係機関との連携】**  
**〈取組 (指標)〉**  
 ○学期に1回「家庭学習強化週間」を設け家庭学習の取組を家庭と連携・協働する。  
 (年に1回、中学校校区連携で行う。)  
 ○すべての学力検査・定期考査の結果と反省を家庭と共有する。  
**〈成果 (指標)〉**  
 ◆「家庭学習チェックシート」の回収率90%以上  
 ◆家庭学習週10時間以上

■視点3

**【授業づくり】**  
**〔基礎基本の定着を目指した徹底反復学習〕**  
**〈取組 (指標)〉**  
 ○全教科、授業の導入で徹底反復学習を実施する。  
 ○習熟度別指導、少人数指導など個に応じた指導体制を充実させる。  
**〈成果 (指標)〉**  
 ◆全国学力・学習状況調査A問題前年度比+0.5以上  
 ◆生徒による授業評価「授業のポイントが分かる」3以上:4段階評定尺度  
**【計画的・創造的授業実践による活用力・表現力・書く力の育成】**  
**〈取組 (指標)〉**  
 ○知識構成型ジグソー法など協調学習を全教科の授業に取り入れる。(学期1回以上)  
 ○「授業のグランドデザイン」を共有し、表現力・書く力の育成を図る。  
 ○思考力・表現力の向上を図るため、思考ツール(すっぽんチャート)を活用する。  
**〈成果 (指標)〉**  
 ◆定期考査に出題したB問題において、全教科無解答率10%以下  
 ◆全国学力・学習状況調査B問題前年度比+0.5以上

■視点4

**【教員の意識・指導力の向上】**  
**〈取組 (指標)〉**  
 ○協調学習を取り入れた授業公開(一人1回以上)  
 ○授業と家庭学習をつなぐ「授業のグランドデザイン」に基づく授業を行う。(毎時間)  
 ○ICT機器の活用、電子黒板の使用(学期1回以上)  
 ○小中合同の研修会の実施(年間3回)  
**〈成果 (指標)〉**  
 ◆質問紙「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」  
 3以上:4段階評定尺度

■視点1-①

**【学力基盤づくり】**  
**〈取組 (指標)〉** ○GT(ガッツリタイム)の取組, 自学ノートの取組, コラム視写の取組(週3回)  
 ○パスポートテストの実施(年度末)  
**〈成果 (指標)〉** ◆自学ノート, コラム視写提出率90%以上(語彙力の向上, 家庭学習の充実)  
 パスポートテスト通過率100%

【全国学力・学習状況調査結果及び生徒による授業評価から見た課題】					【要因 (授業づくりやその他学校の学力向上の取組)】
標準化 得点	国語A	国語B	数学A	数学B	○授業態度は真面目で意欲的に授業に参加しているが、自らの課題を見つめて克服しようとする探求力に欠ける。また、与えられた方法以外で課題解決してみようという挑戦精神がない。 ○教師の授業マネジメント力・デザイン力、家庭との連携力、人間関係能力の向上が求められる。 ○国語の「読むこと」に関する領域の正答率が低く、文章を読むことに慣れ親しんでいない。必要な情報を読み取り、根拠を明らかにして自分の考えを表現する力が必要である。
	99.9	99.7	92.3	85.2	
質問紙 調査等	・計画を立てて勉強する(全国比-6.1) ・問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える(全国比-11.6) ・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う(全国比-15.6) ・理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察している(全国比-10.6)				